

# 統合版地質文献データベース(Integrated GEOLIS)の高度化 どこからでも GEOLIS データの検索が可能に



## 菅原 義明

すがわら よしあき  
sugawara-yoshiaki@aist.  
go.jp

地質調査情報センター  
地質・衛星情報アーカイブ室  
室長  
(つくばセンター)

1976年旧地質調査所入所以来、図書・資料情報業務をメインに従事しています。地質文献目録(冊子体)を1986年に電子化する(GEOLISと命名)作業から携わっています。文献データベースの発展は個人の力ではなく、文献選択の研究者や収集担当・データ登録担当などさまざまな人の協力の上になっています。これからもスタッフ一同協力し発展させていきます。

## 関連情報:

● 統合版地質文献データベース: <https://gbank.gsj.jp/geolis/>

## 地質情報収集と文献データベース

地質調査情報センターでは多様な文献情報の収集・整理・加工・発信を積極的に行い、所内外に広く提供してきました。文献交換(157カ国、1245機関からの入手)を中心に年間約6,000件の資料類、1,300枚の地図類を収集し、統合版地質文献データベース(GEOLIS)を通じて情報を内外へ公開しています。現在約43万件のデータ蓄積があり、年1~2万件の新規追加を行い、日本最大の地質文献データベースとなっています。

昨今のインターネット普及により、学術雑誌のオンラインジャーナル化が標準になりつつあります。GEOLIS登録対象誌も電子化が進んでいますが、現状では紙媒体に出力するなどの手段で文献選択・登録を行っています。またインターネットでは標準になりつつあるGoogleなどの情報検索に慣れているユーザーにGEOLISを利用してもらうためにさらなる工夫が必要となってきています。

## 高度化と今後の展開

今回、インターネット普及に対応するため、GEOLISの機能追加を行いました。

### ①オンラインジャーナル収集機能

オンラインジャーナルの各出版社が提供している書誌データ(RSSフォーマット)などを利用し

て、データを収集します。収集データを元にGEOLIS登録データの選択・修正・登録機能を追加しました。

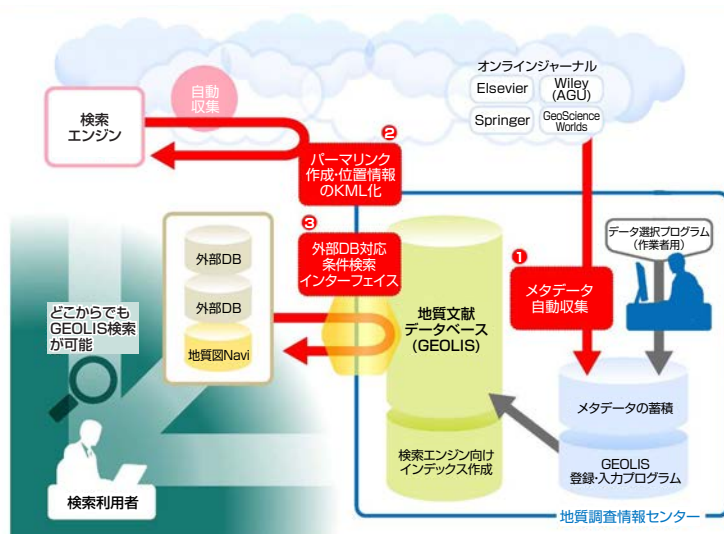
### ②パーマリンクおよび検索エンジン対応

GEOLISにパーマリンク作成機能を持たせました。また検索エンジン向けのインデックスページを生成するようにしました。これらにより検索エンジンでGEOLISデータを直接検索できるようにしました。

### ③外部インターフェース

外部のデータベースまたはシステム向けにウェブ表示で使用されるhttpsプロトコル受付でのインターフェースを設置しました。外部インターフェースから利用するためのドキュメントおよび利用するサンプルページも公開しています。

今回の高度化により、今までGEOLISに触れていないユーザー層による利用拡大が期待できます。また他データベースからの呼び出しにも対応でき、他データベースとの相互利用が可能な形への展開を今後検討していきます。オンライン情報も含めた情報収集の継続とGEOLIS登録により、文献情報の寿命の長い地質学分野においてGEOLISは地質文献情報提供の要になることが期待されます。



Integrated GEOLIS 高度化機能イメージ